

近世建築第九十三号
佛蘭西 雜輯
洪洋社發行



始



337
470

337-470

近世建築 第九拾參號 18 PLATES.

佛蘭西 雜輯 昭和二年七月



本集は佛蘭西建築の體裁としてみた。以下目次を列挙し概説を試みる。

居室—表現主義の味を取り入れたものであるが、獨逸のそれのやうにどげんかしくない處が、佛蘭西近代建築の大きな潮流である。

2.3 ガレージ—構成派の道を行くもので、其清新の手法は近代佛蘭西の目覚ましい産物である。内部の大まかな裝飾は異彩を放ち、他の何物とも調和して近代的生命を漂はす。

4.5 中央電信局—セセッション以後の近世建築として、極めて温雅な風韻を示してゐる。

6 中央郵便局—これも前同様の意味で紹介した。受付廣間の天蓋は愉快なものであらう。

7-9 聖テレーズ寺—佛蘭西に於て最近最も矚目された建築である。設計はペーレー兄弟で、義にも戦捷記念塔として殆ど同一手法のものが建てられた。

10 レストラン内部—佛蘭西特有の近代文様で富全體を彩どり、電燈の點在の調子が更に柔かみを添へてゐると思ふ。

11 階段室—何となく美しいカーヴを持つてゐて、近頃出来る構成主義的の出来そこなつたものより、優れてよい感じを與へる。

12 自動車會社の陳列室—電燈のあしらびや其他よい感じを持つたものと思ふ。

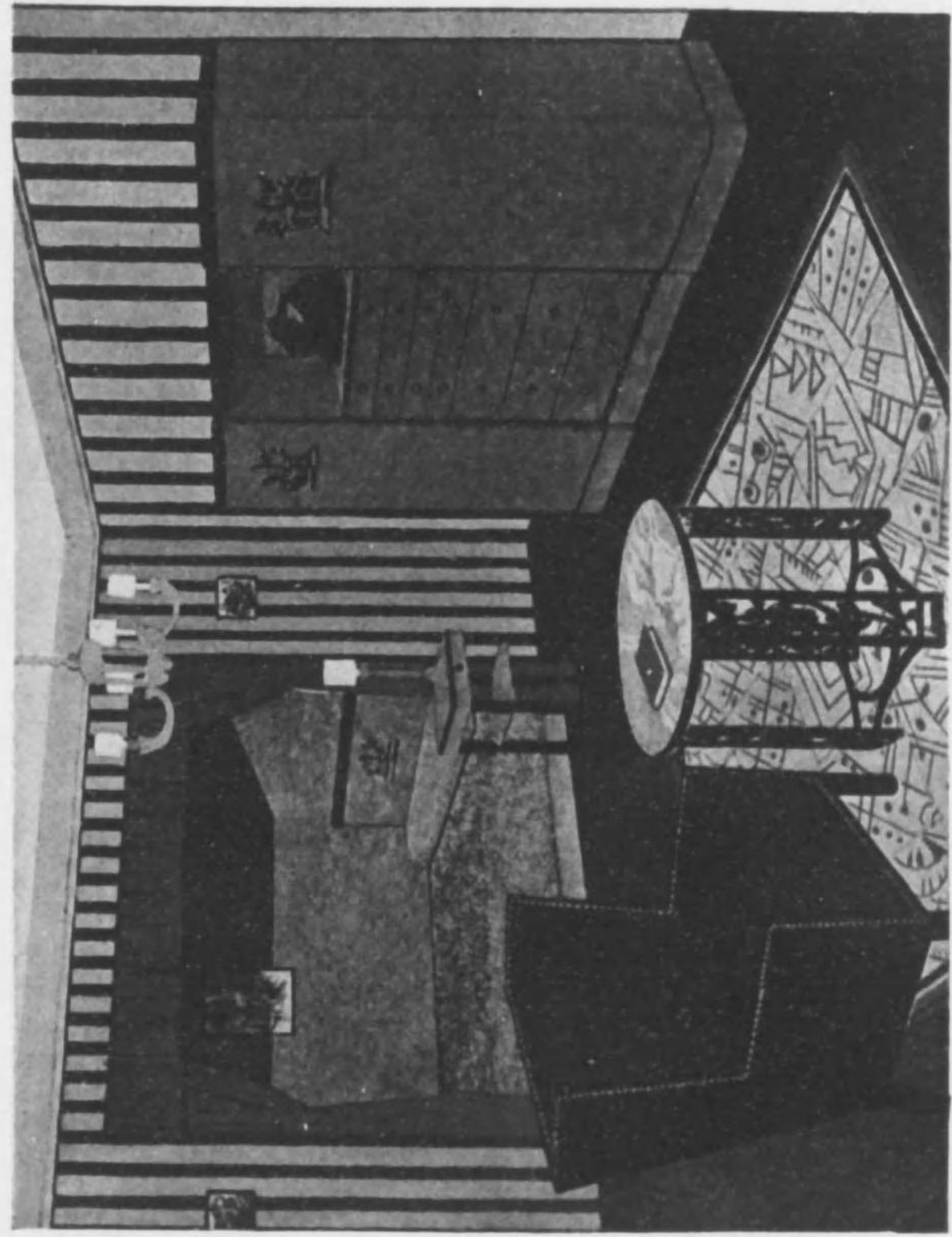
13-16 サン・ルイ寺—寺院としては通例のものですが、内部構成や裝飾には捨て難いものがある。

17 自動車會社の陳列室—特に言ふ點はないが、天井や其彩光裝置に近代味を見せてゐる。

18 新しき室内裝飾—圖版では墨の一色刷だから黄も赤も皆黒色になつて、ほんとうの好果は判らないが紹介する價値はあらう。

東京牛込
洪洋社發行

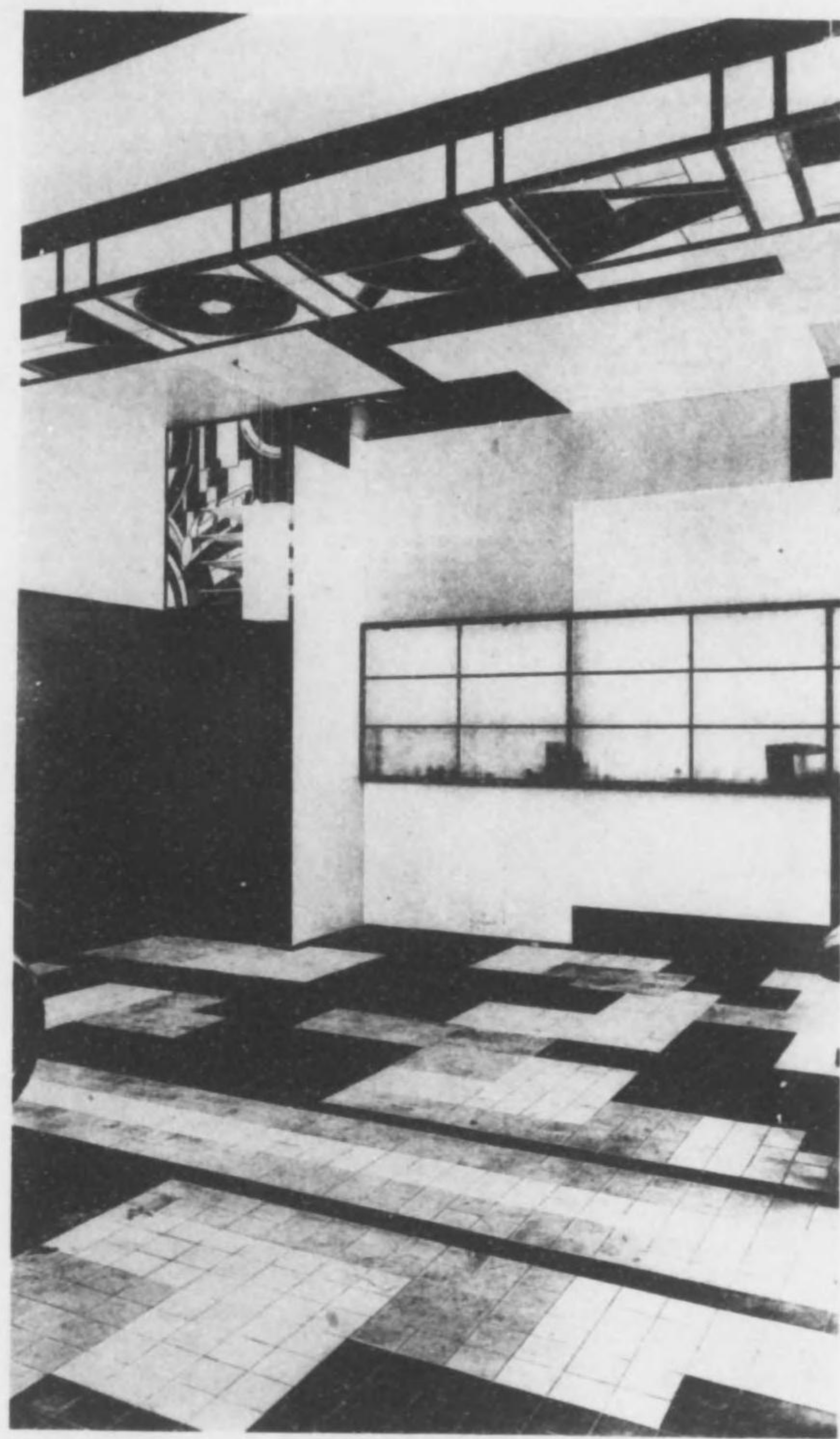




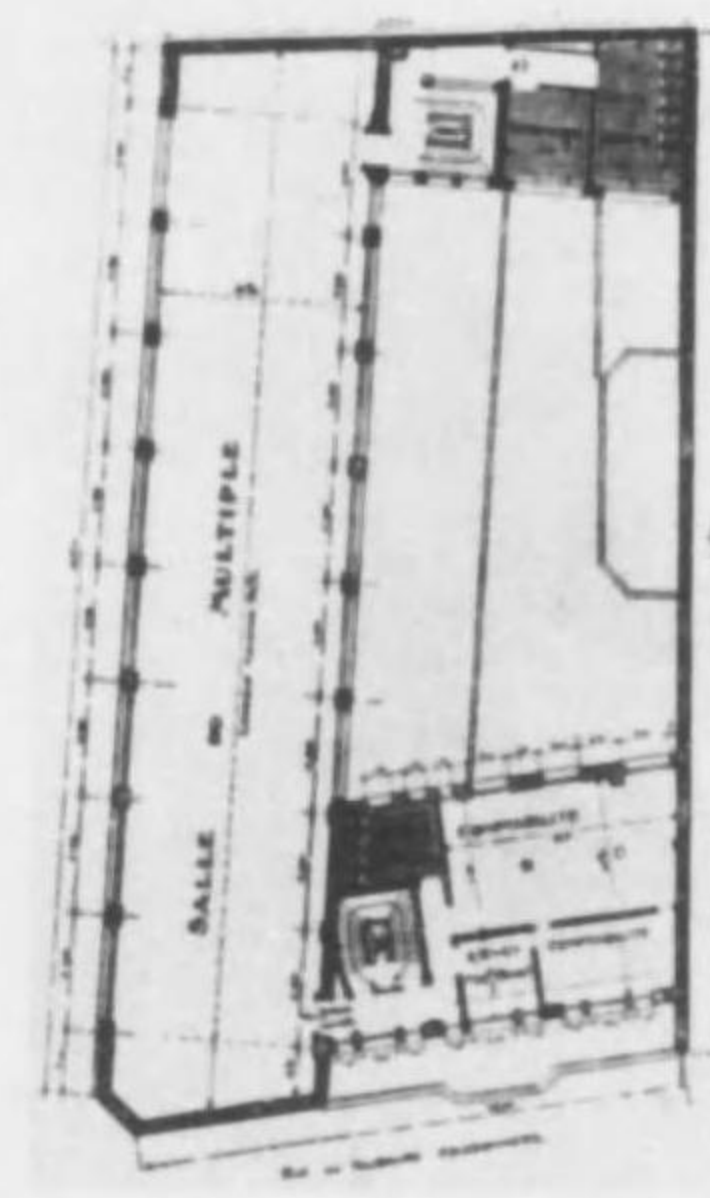
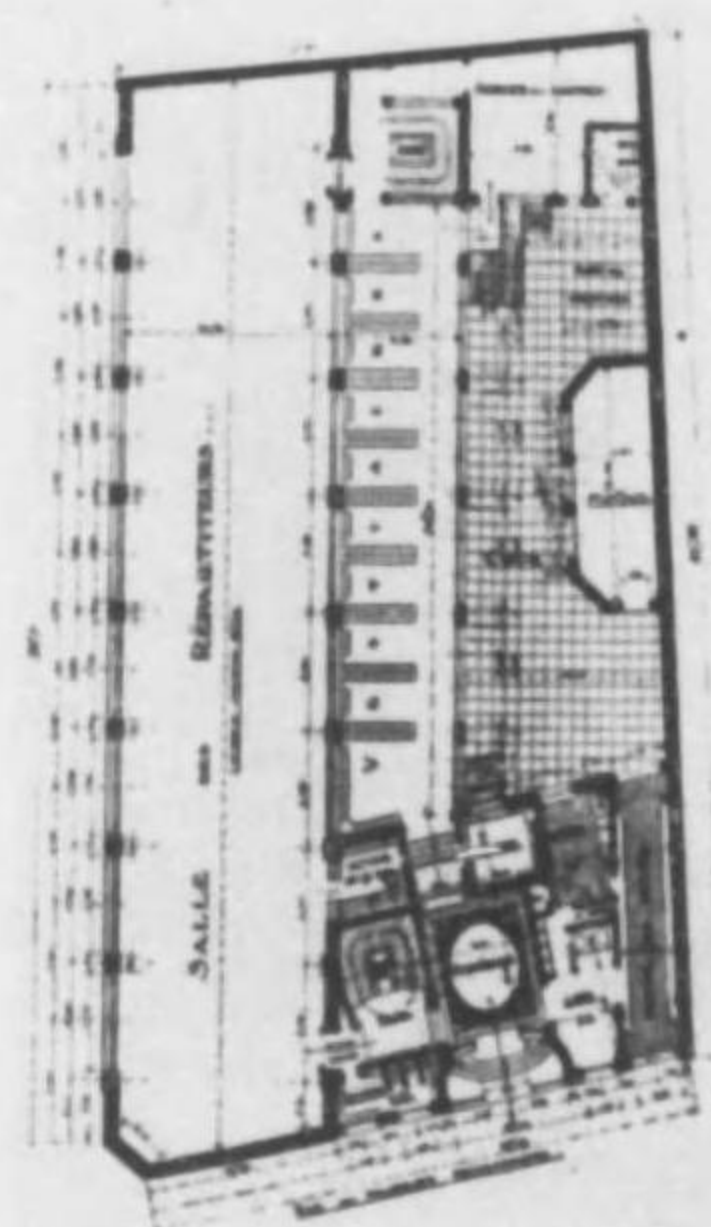
1 寫字
設計 阿 斯 丁 氏



2 ヲーヂの外觀
建築家 スターケン氏



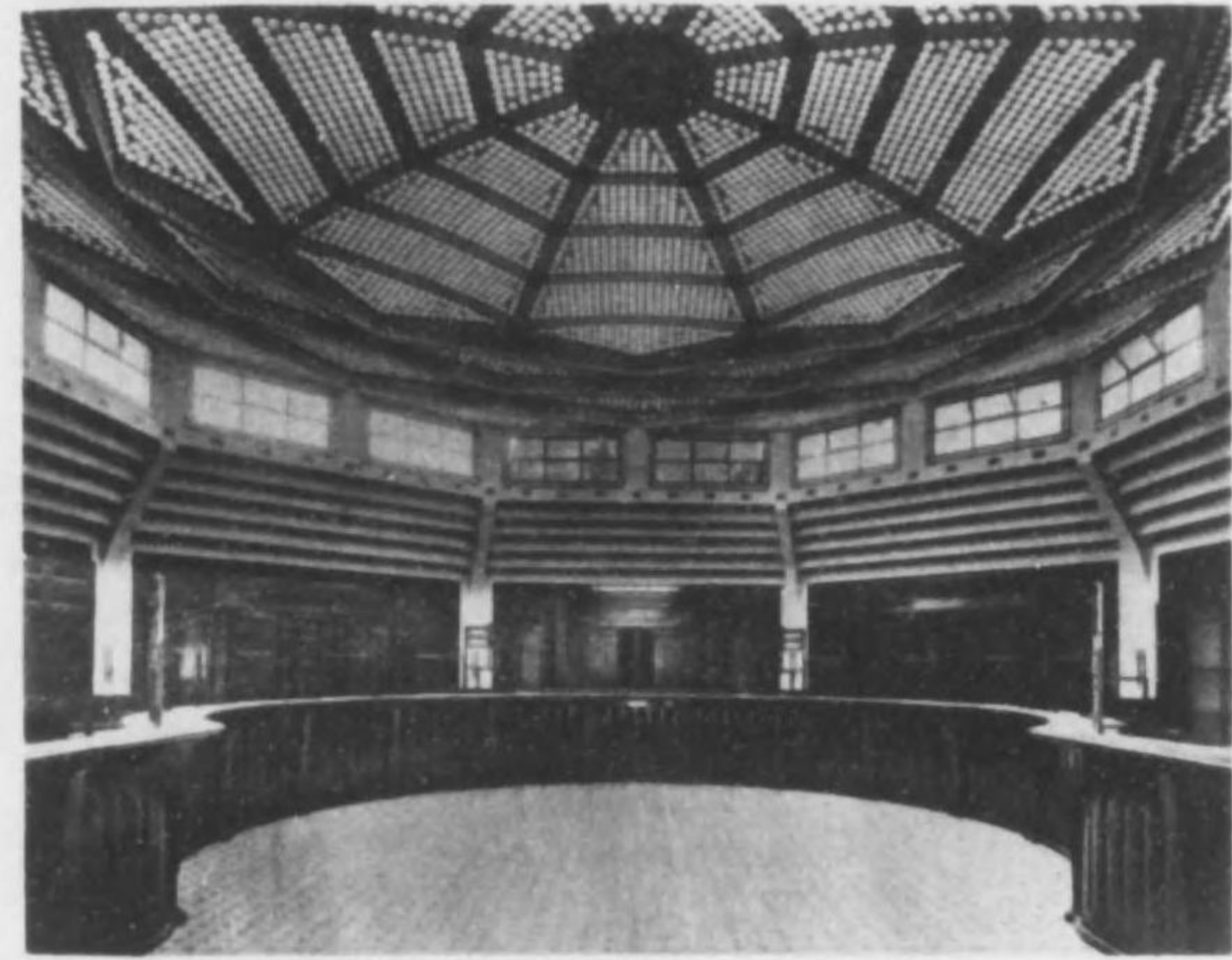
3 ギャラリーの内部
建築家 ステークン氏



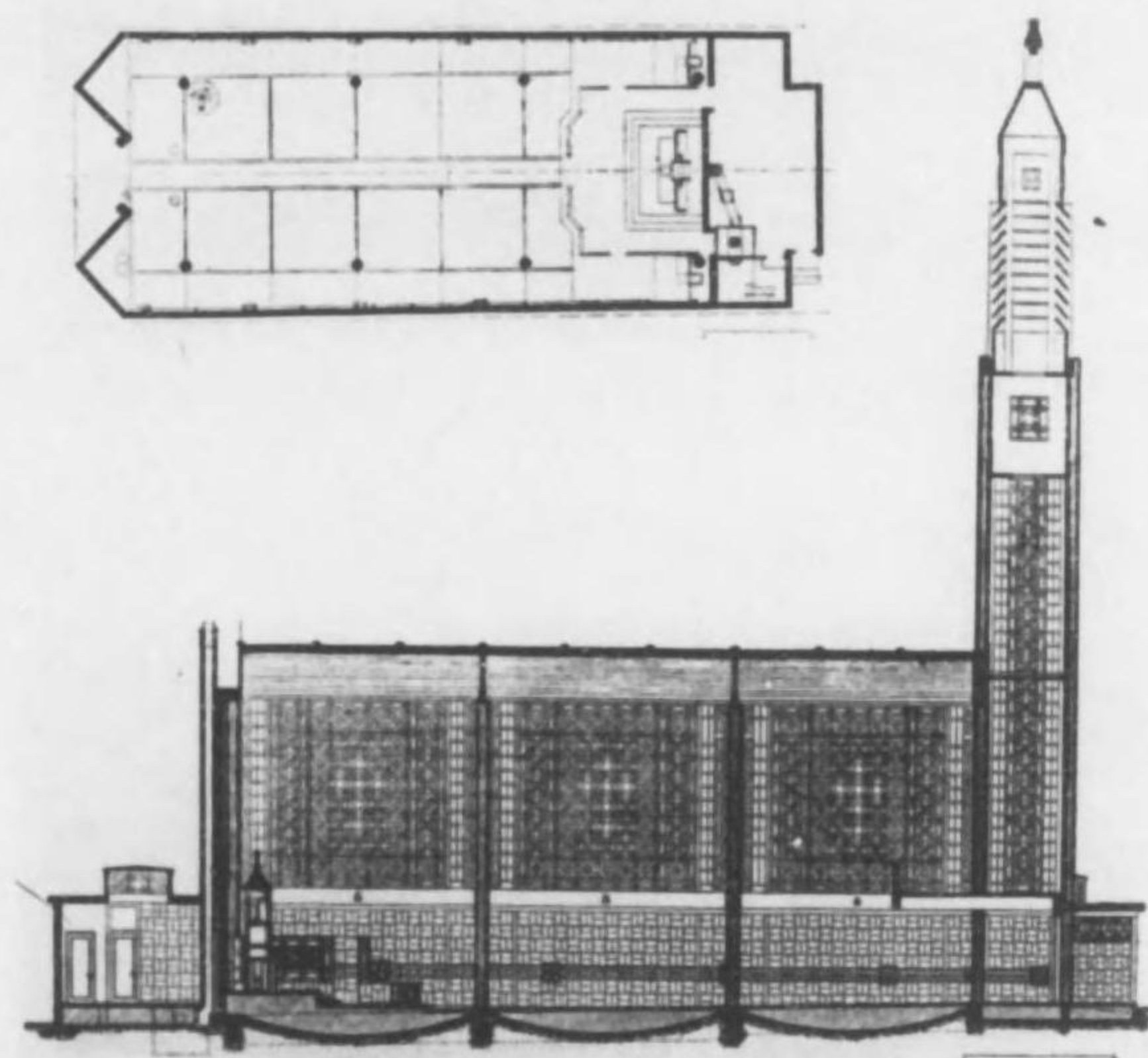
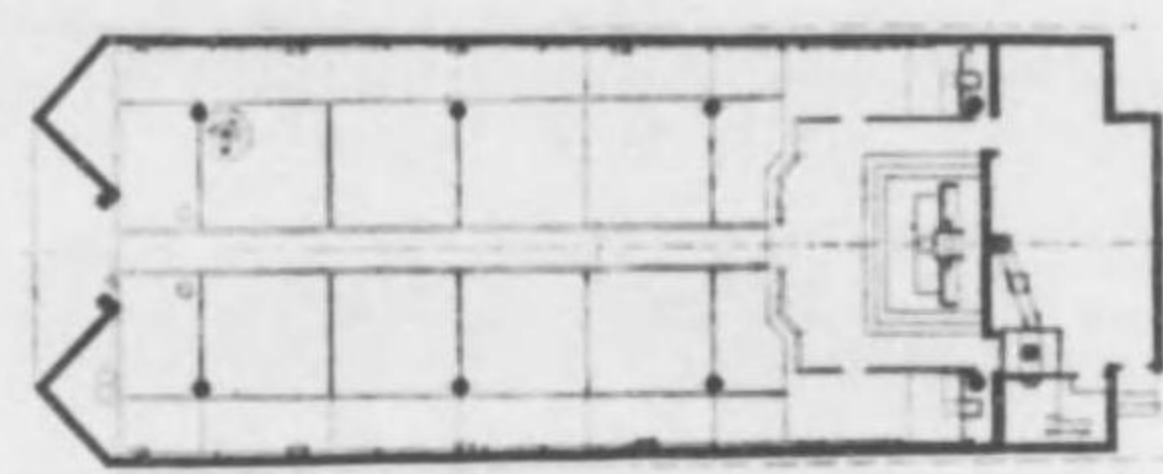
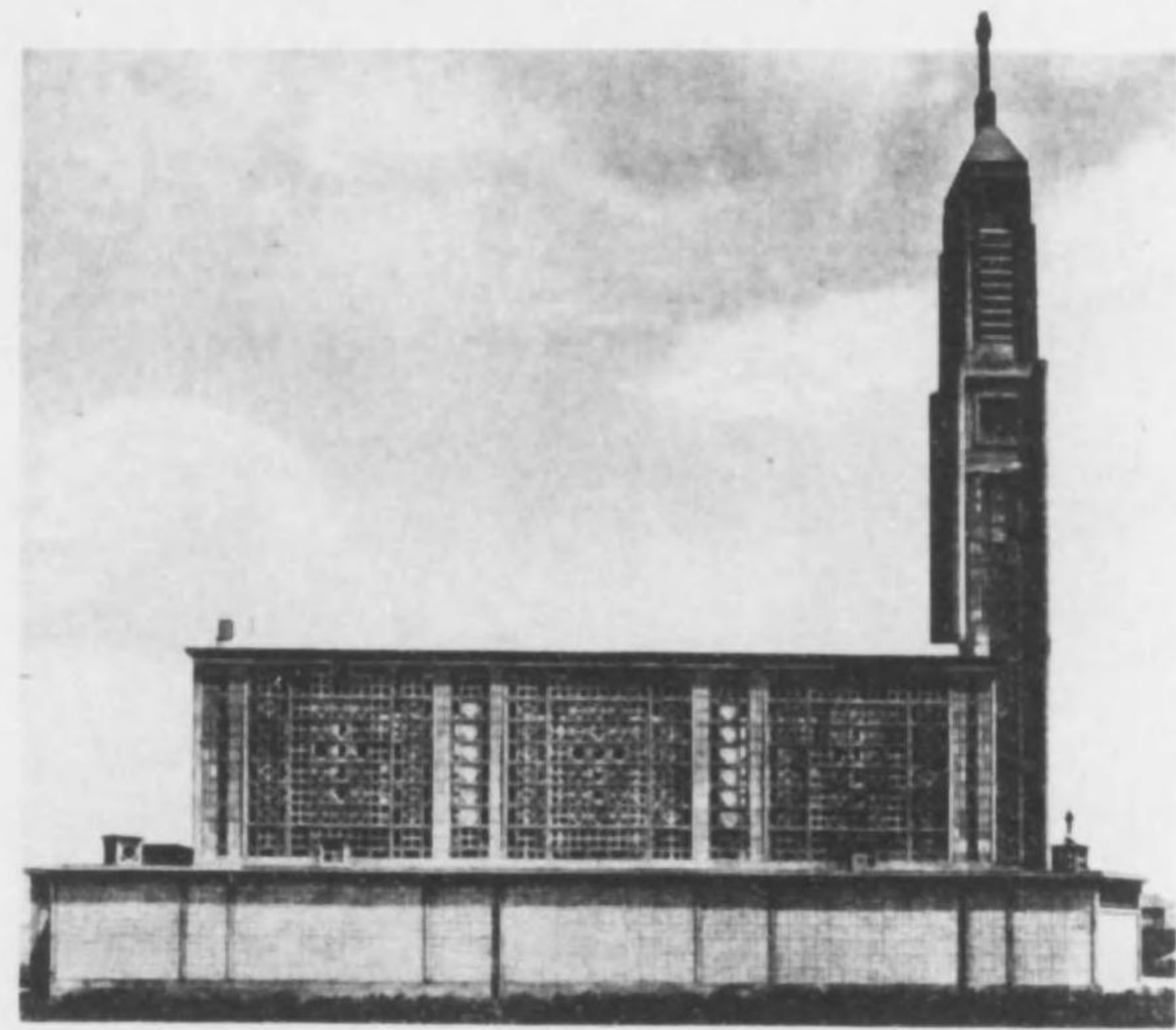
4 中央電信局 入口と平面圖
建築家 フーケ氏



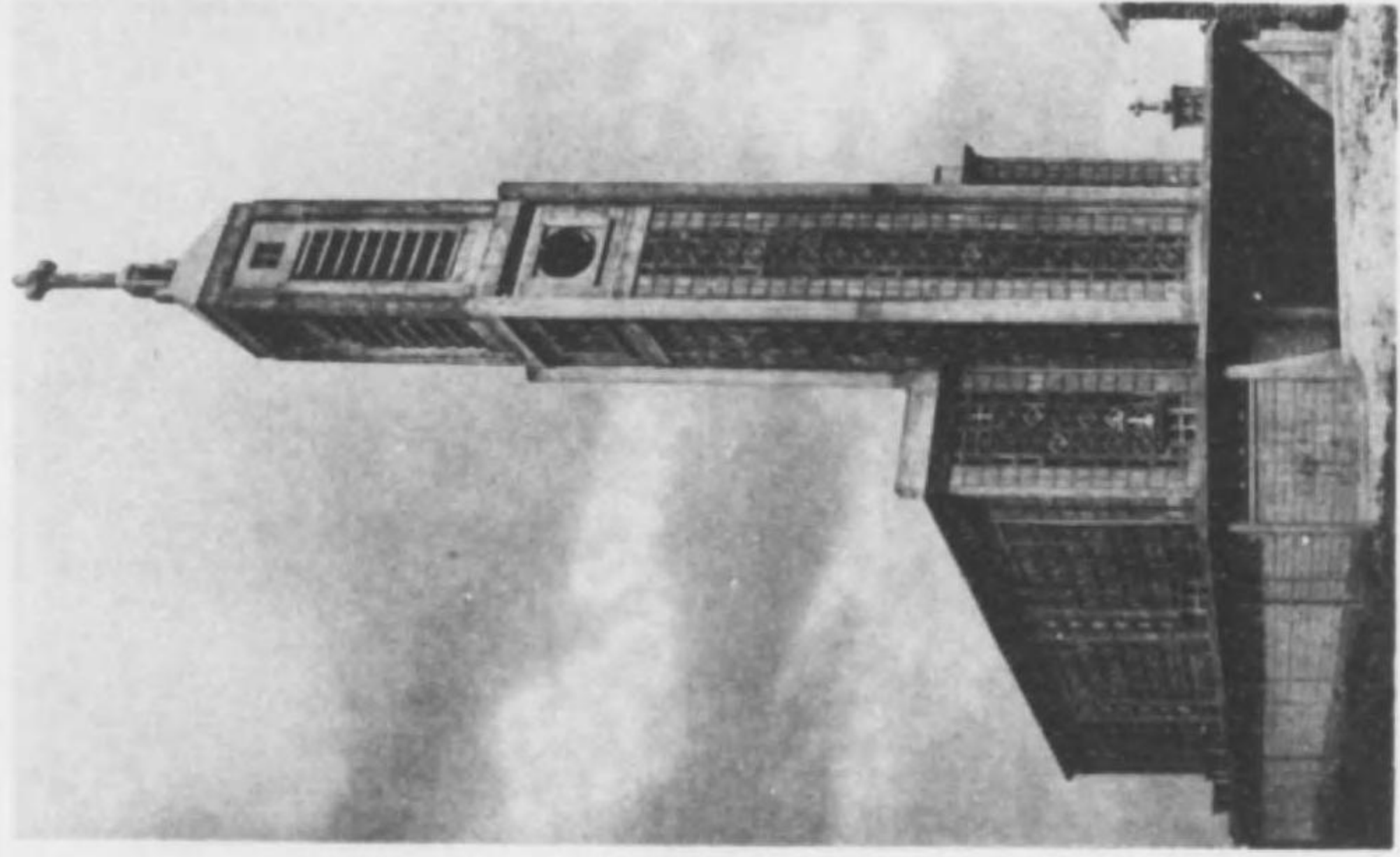
5 中央電信局
建築家 ケーパ氏



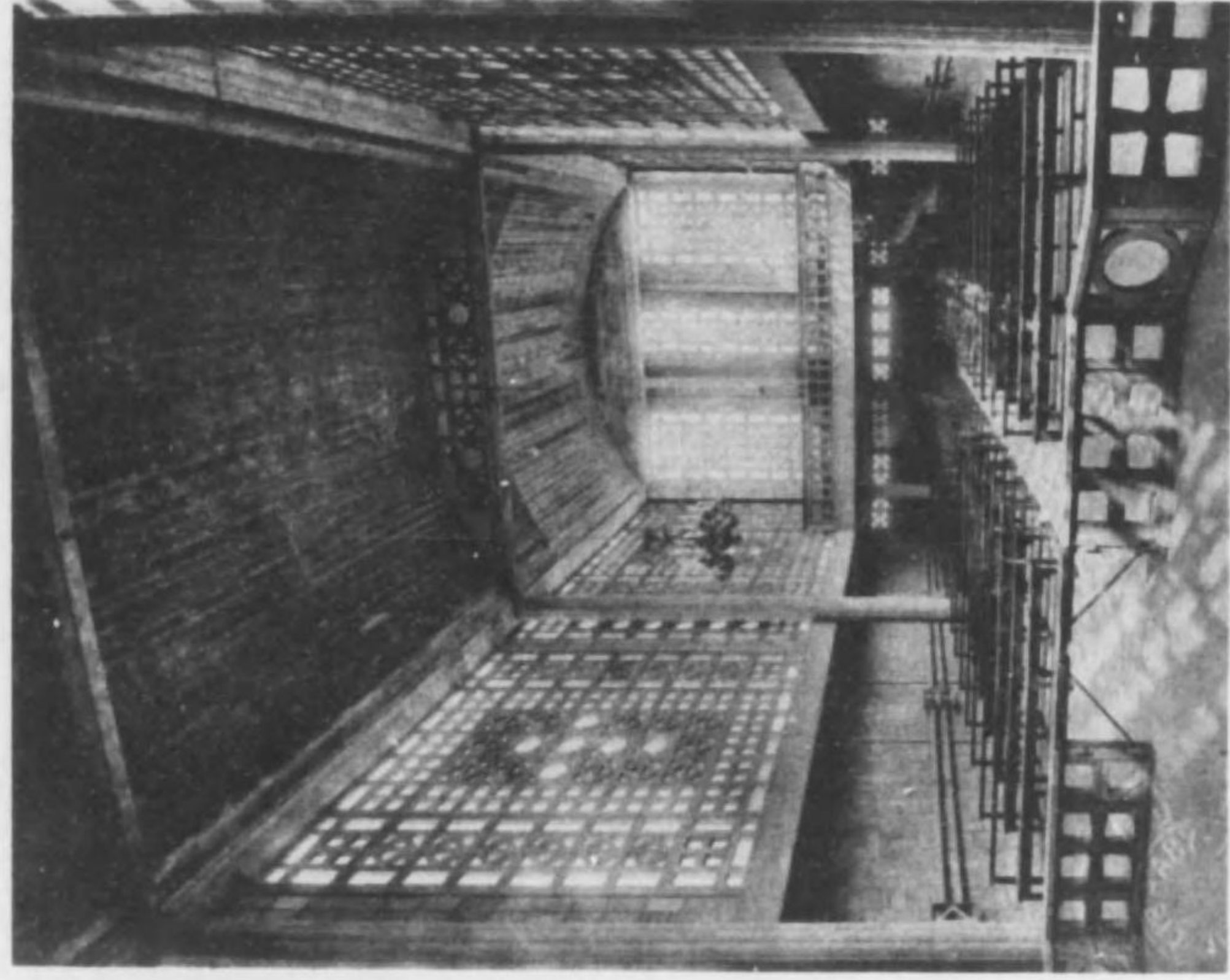
6 中央郵便局 受付廣間之正面
建築家 ヴェーデル氏

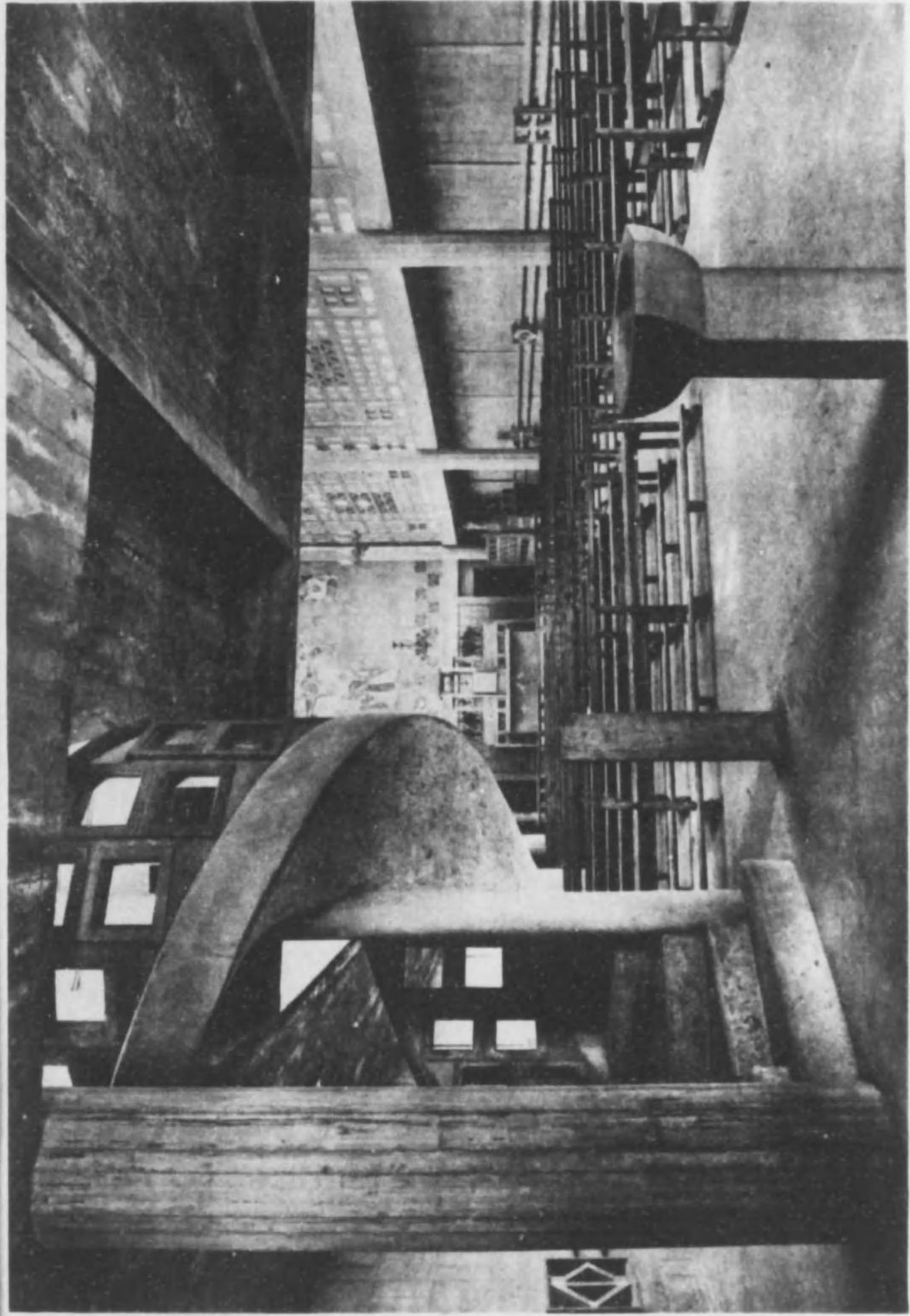


7 聖テレーズ寺 側面と平面圖及断面圖
建築家 マーレー氏



8 興隆寺 正面之内部
建築家 ムーラー氏

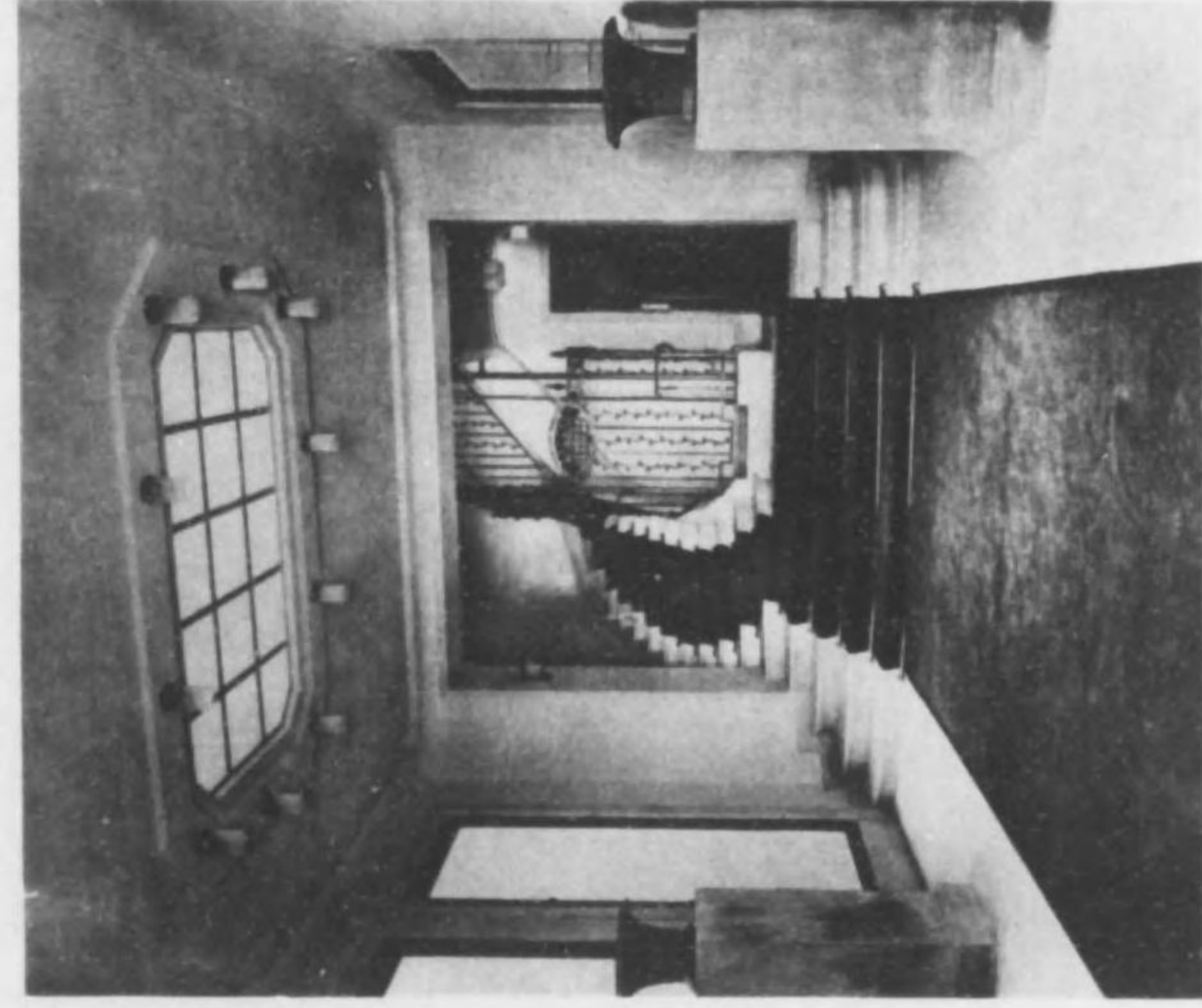
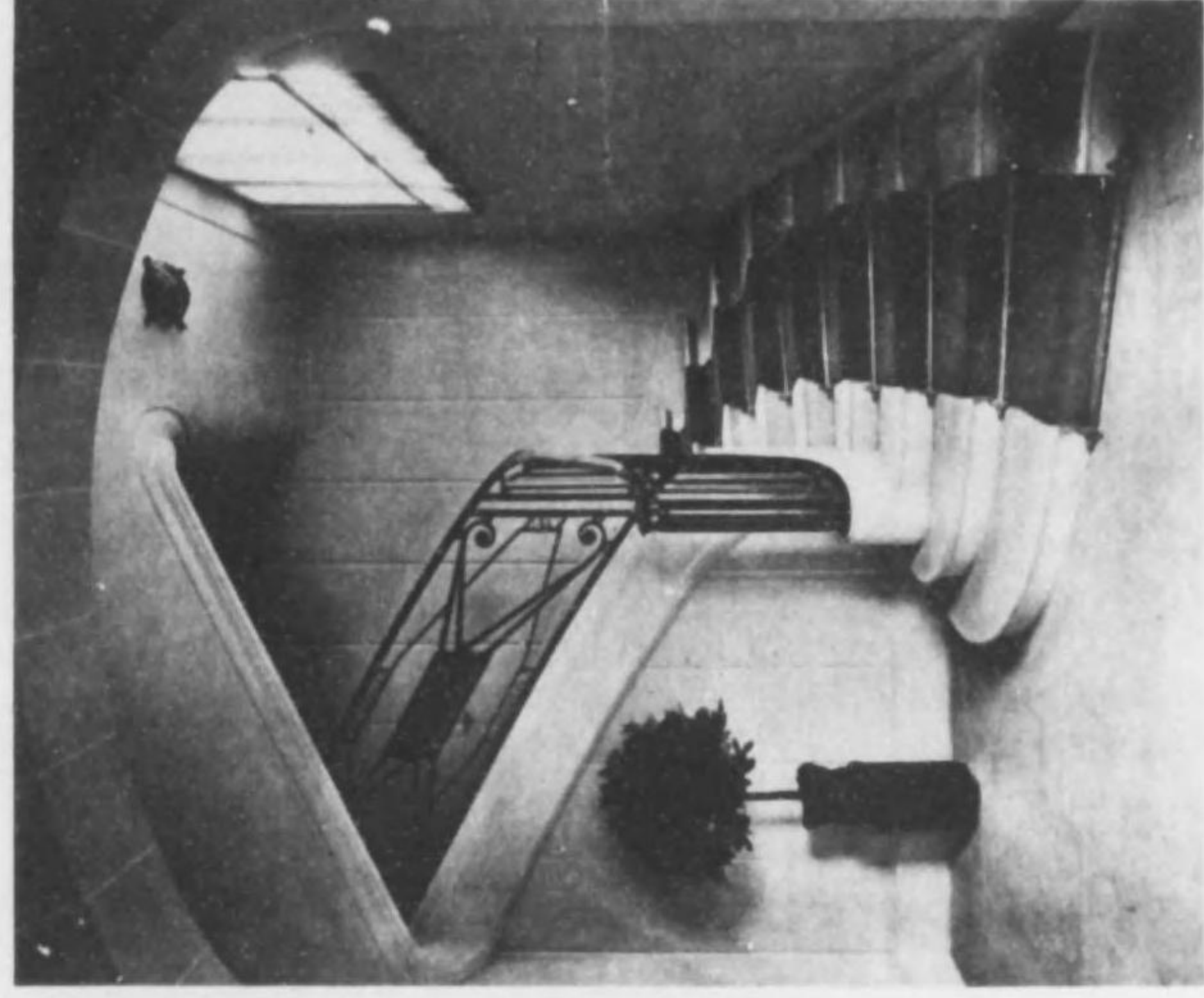




第一工場
第一工場
6



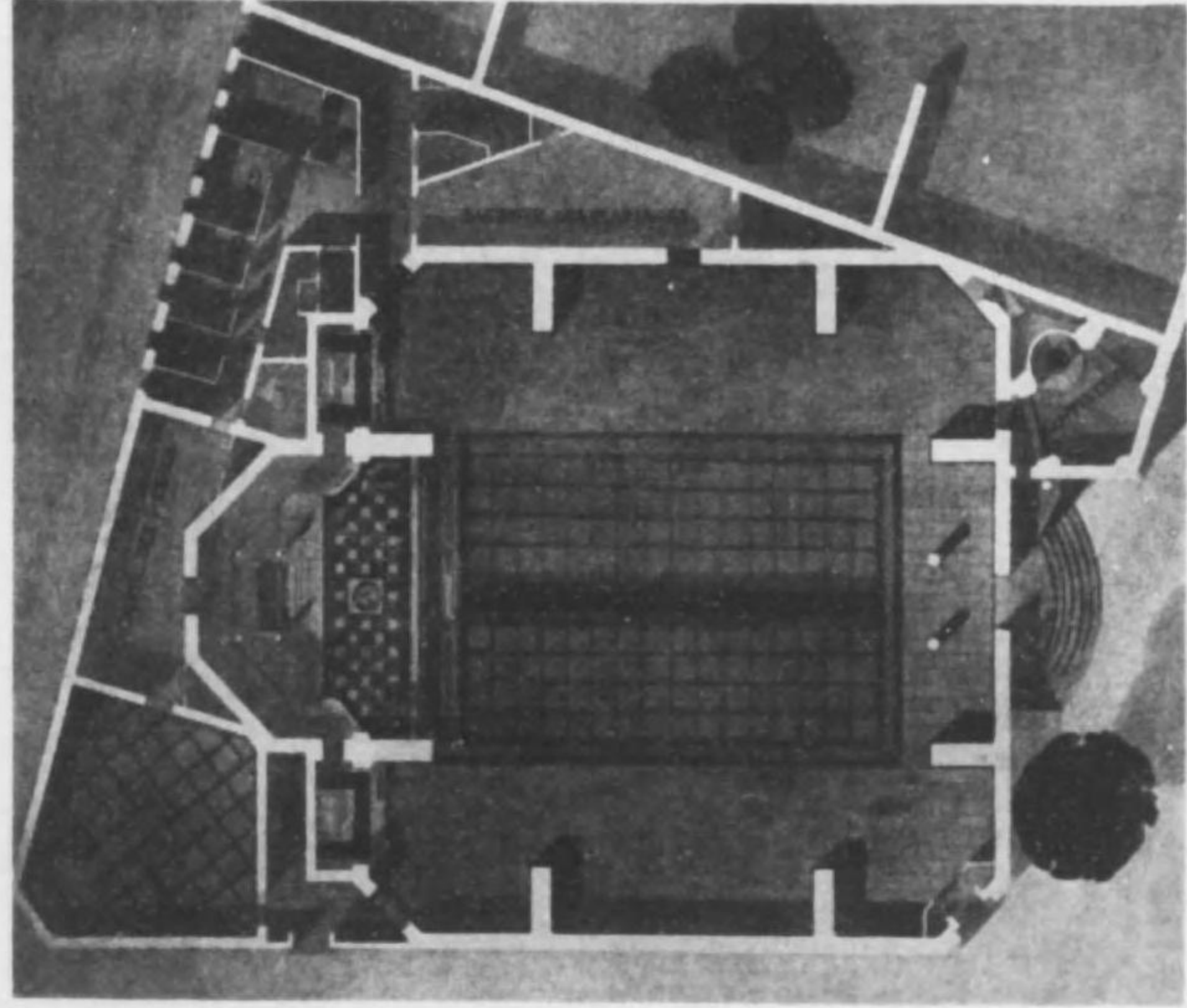
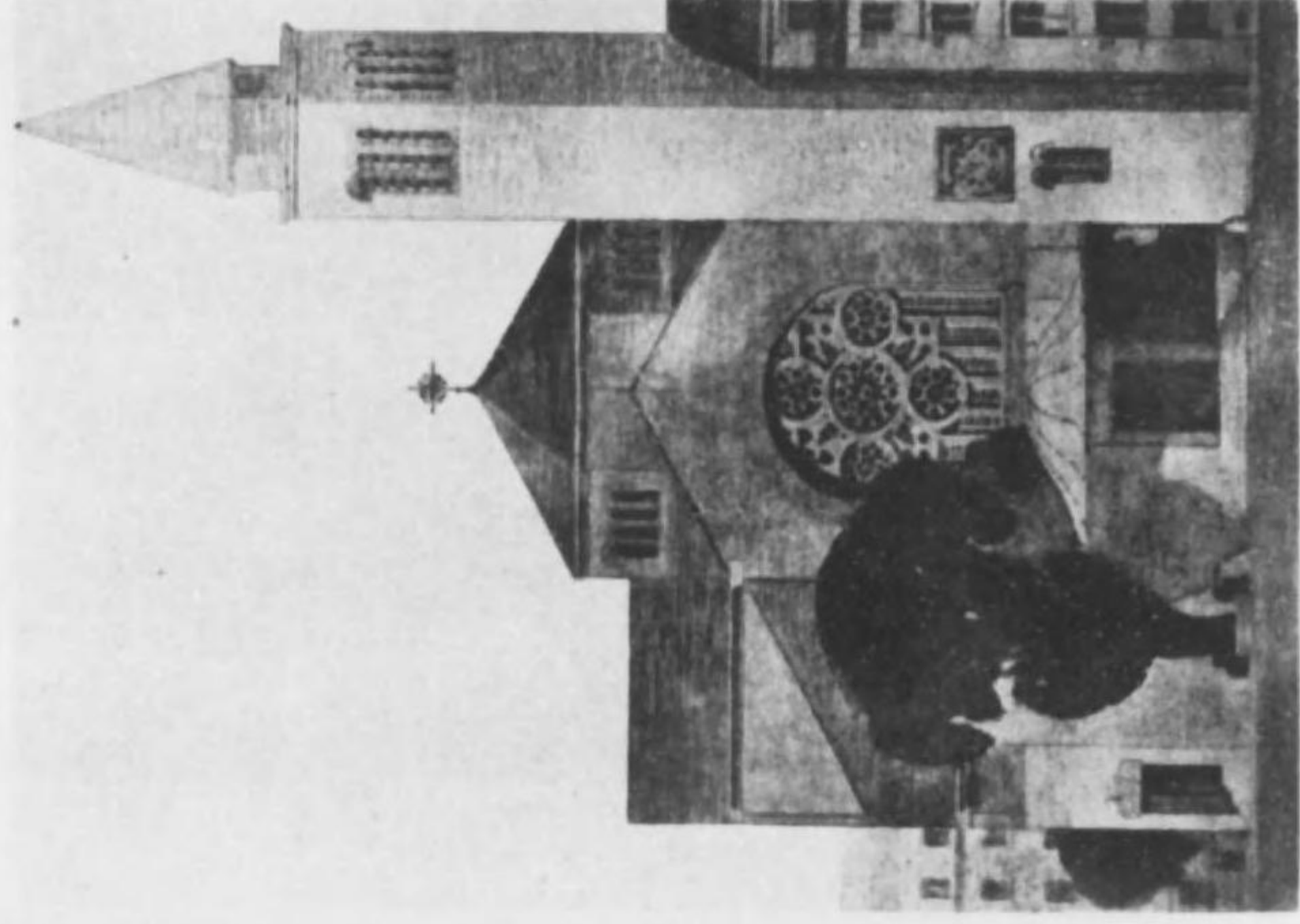
10 ヴクトリヤ内 部
提 納 家 ガ フ ー 氏



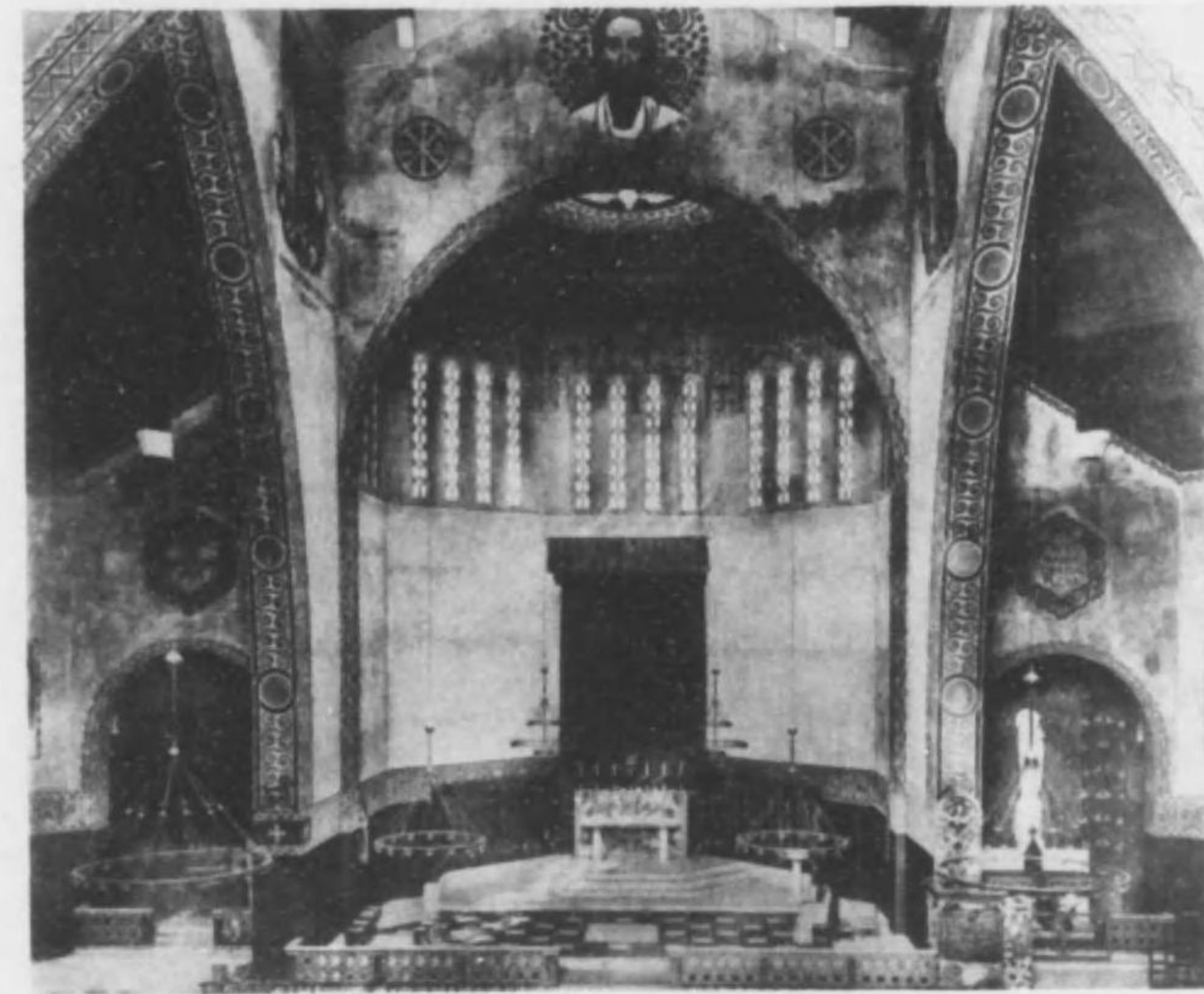
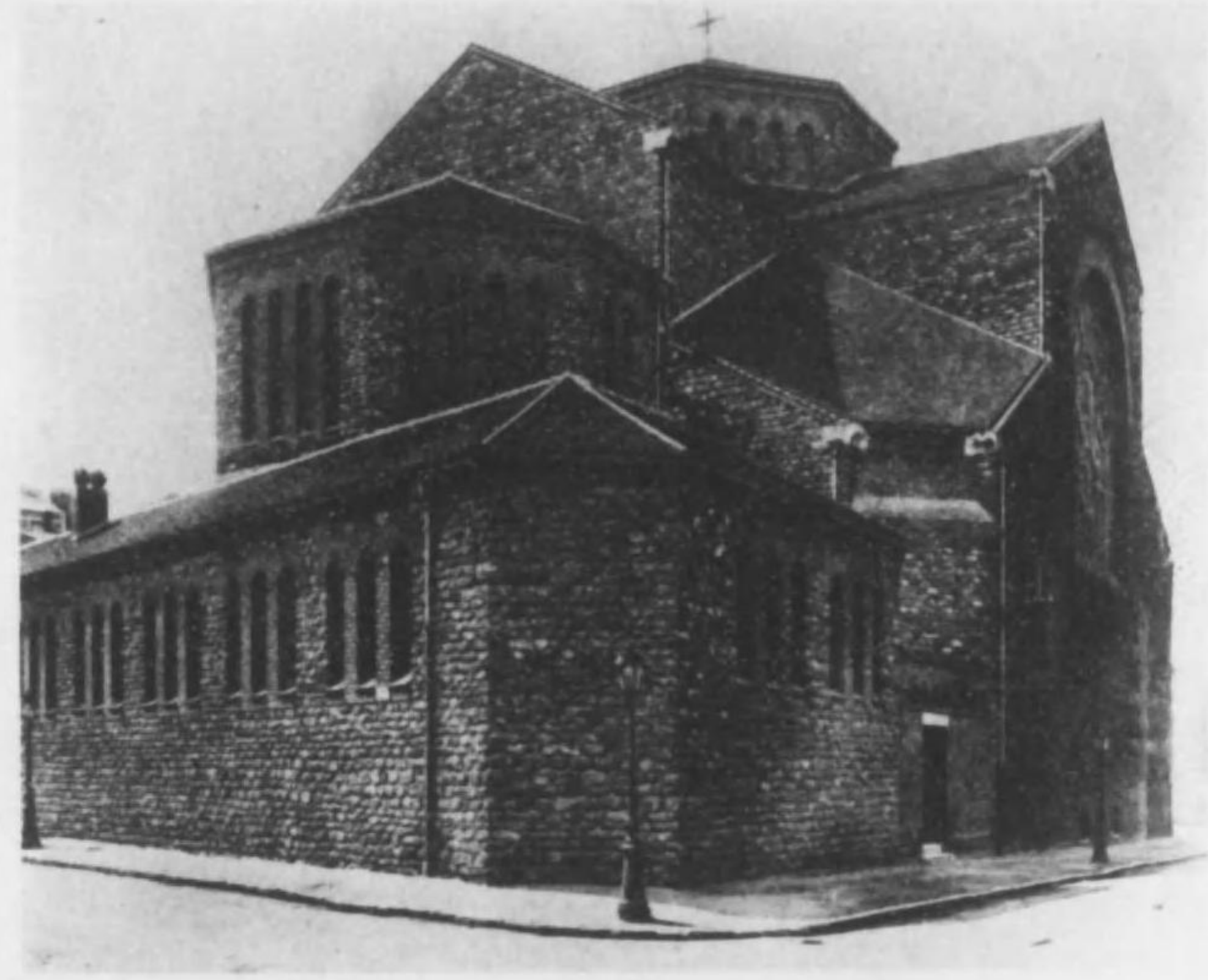
11 階段室
建築家 ヴィクトル・ハッサン・ブナール



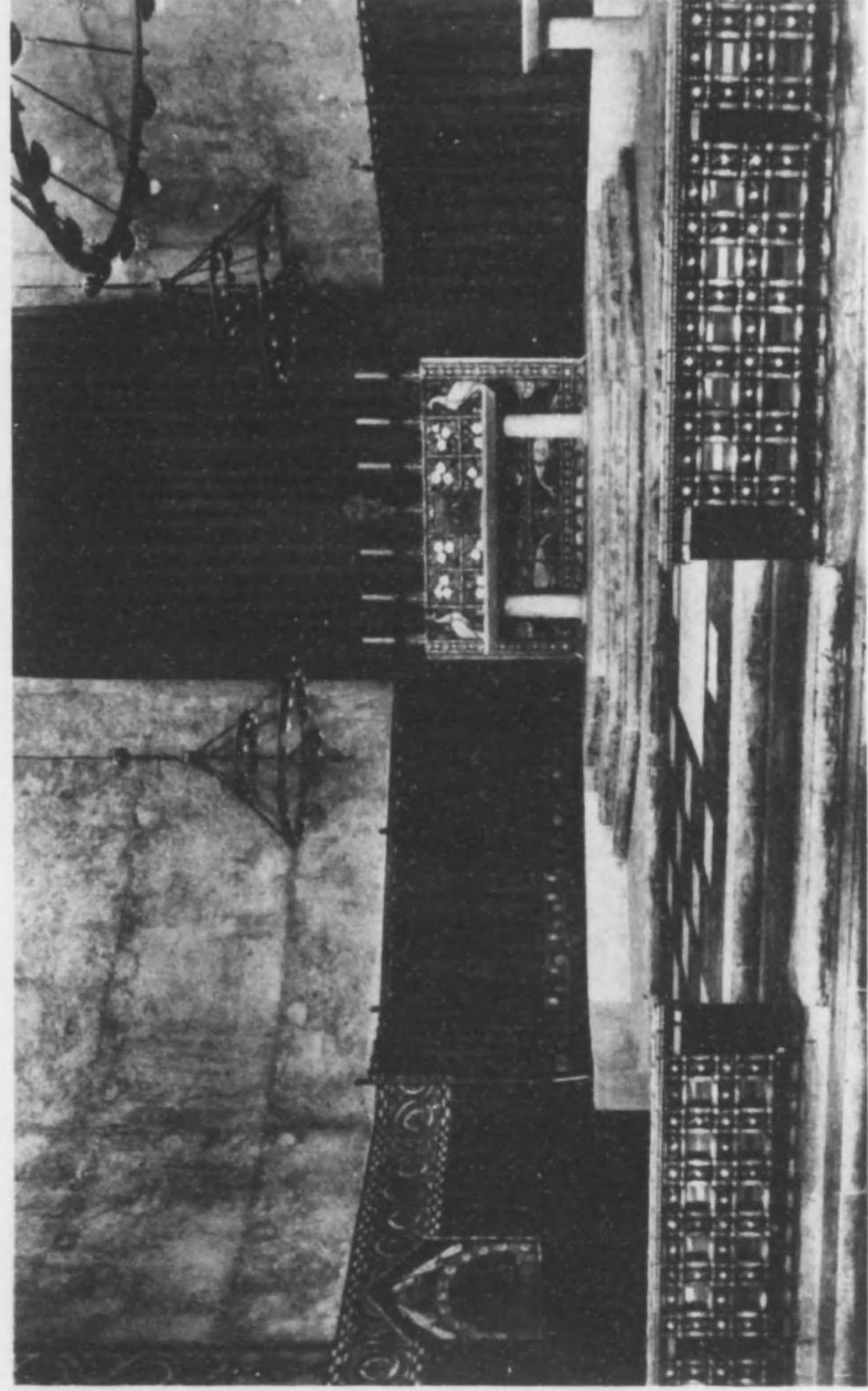
12 自動車會社 陳列室
建築家 エース氏



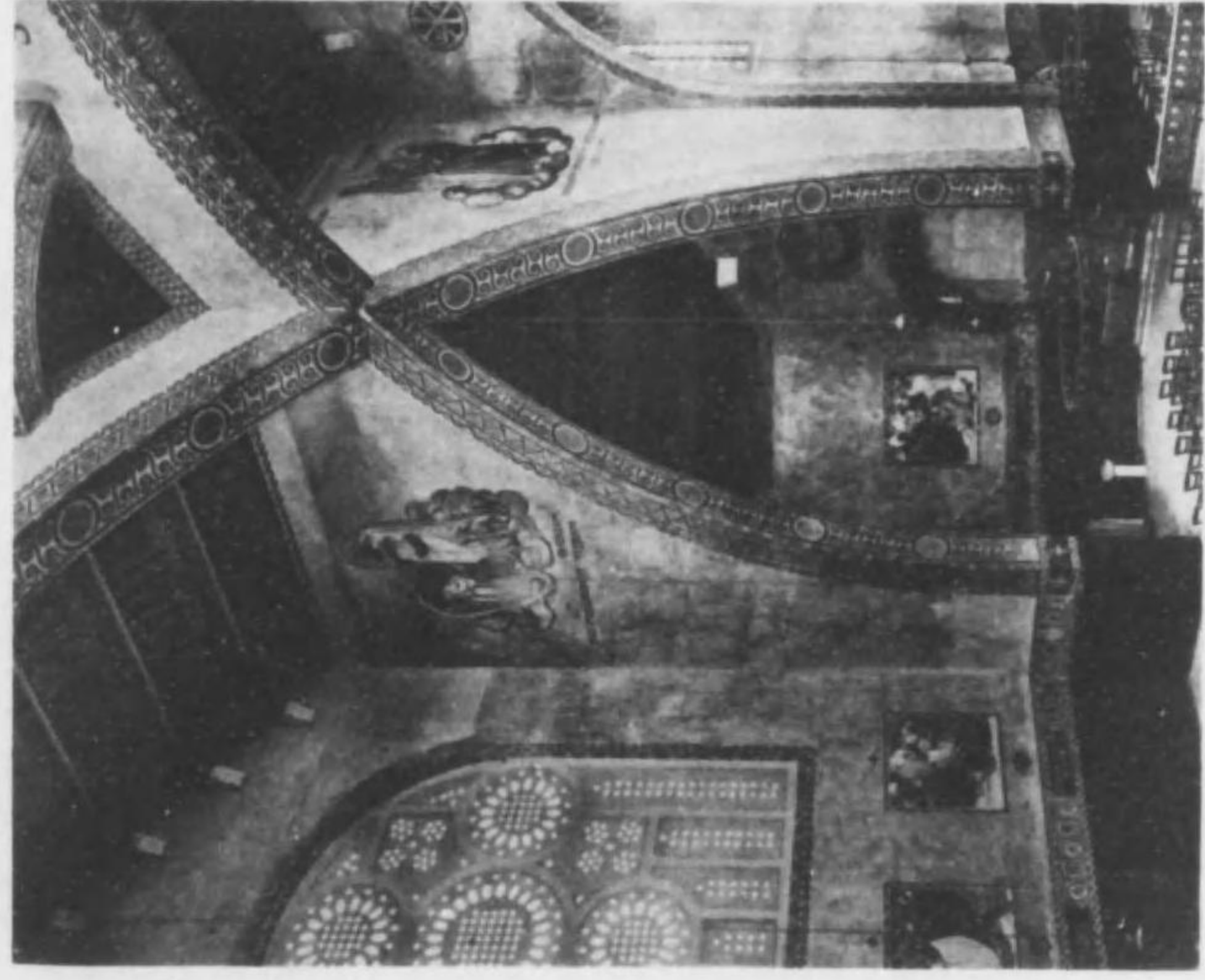
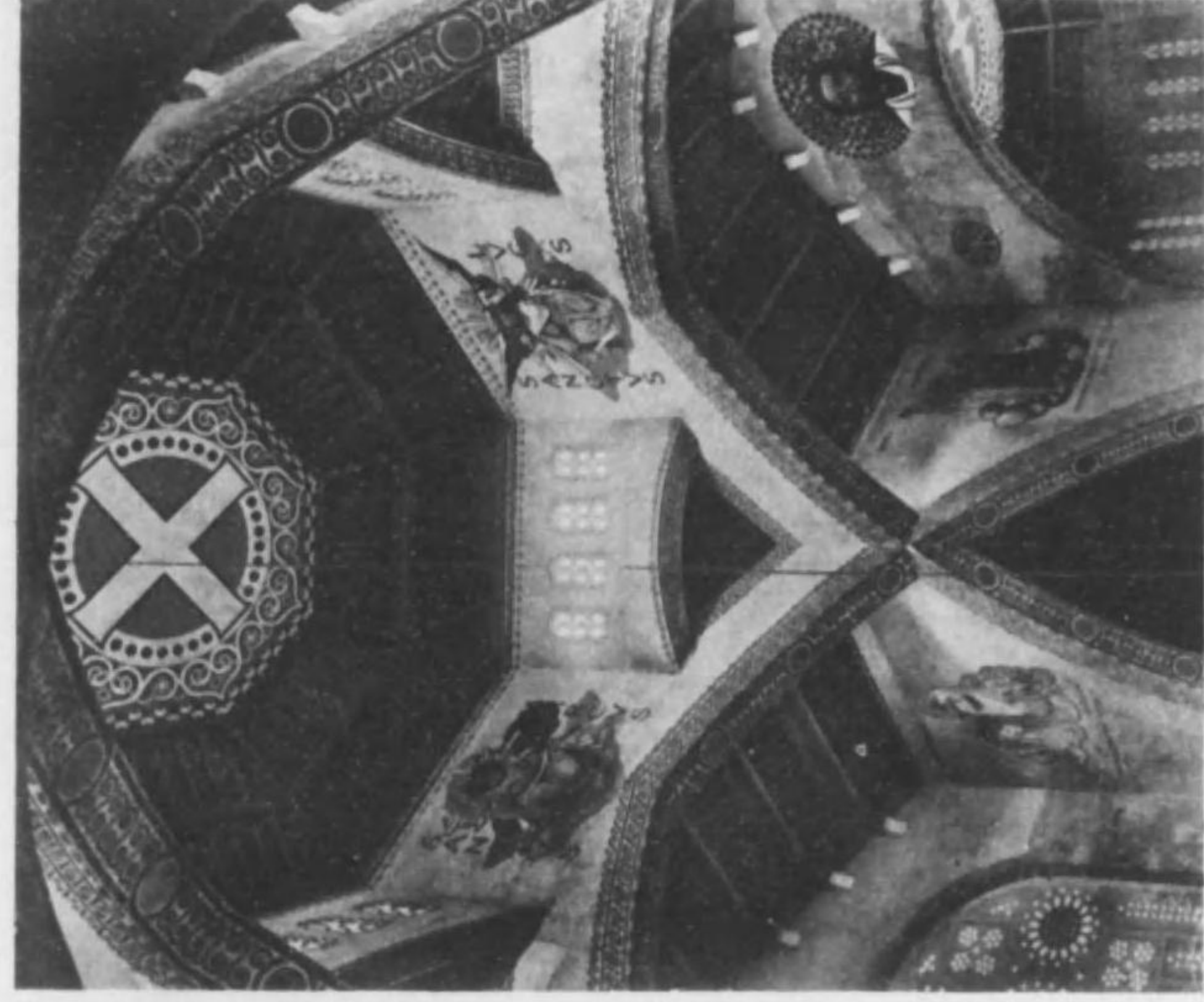
13 キレ・ルイ寺 平面圖之正面圖
建築家 フロップ及マール氏



14. マンハイター寺 側面及内部の聖壇
建築家 デロリアン及マーブ氏

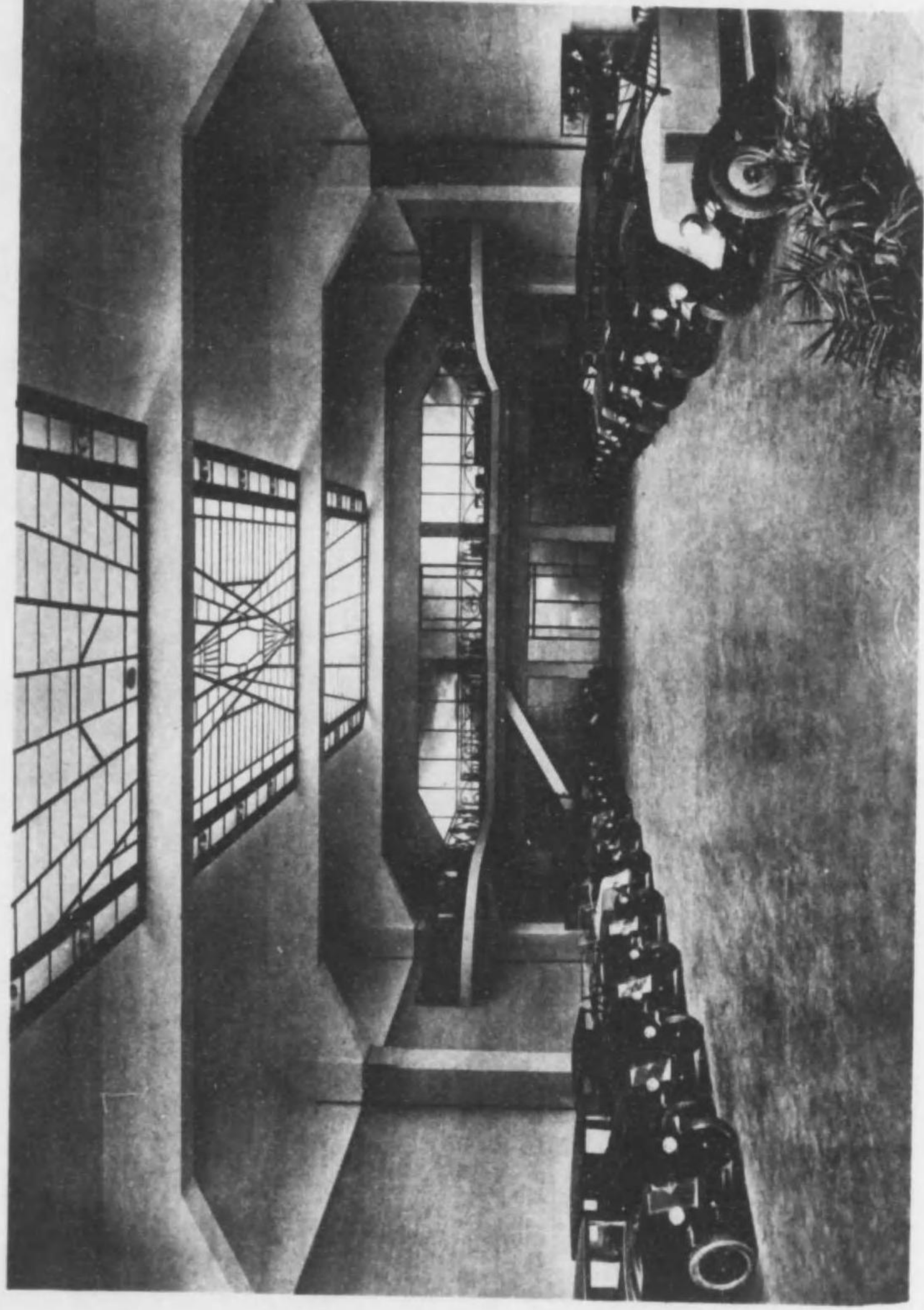


15 寺・神社の建築
建築家 戸部・大島・十・十式

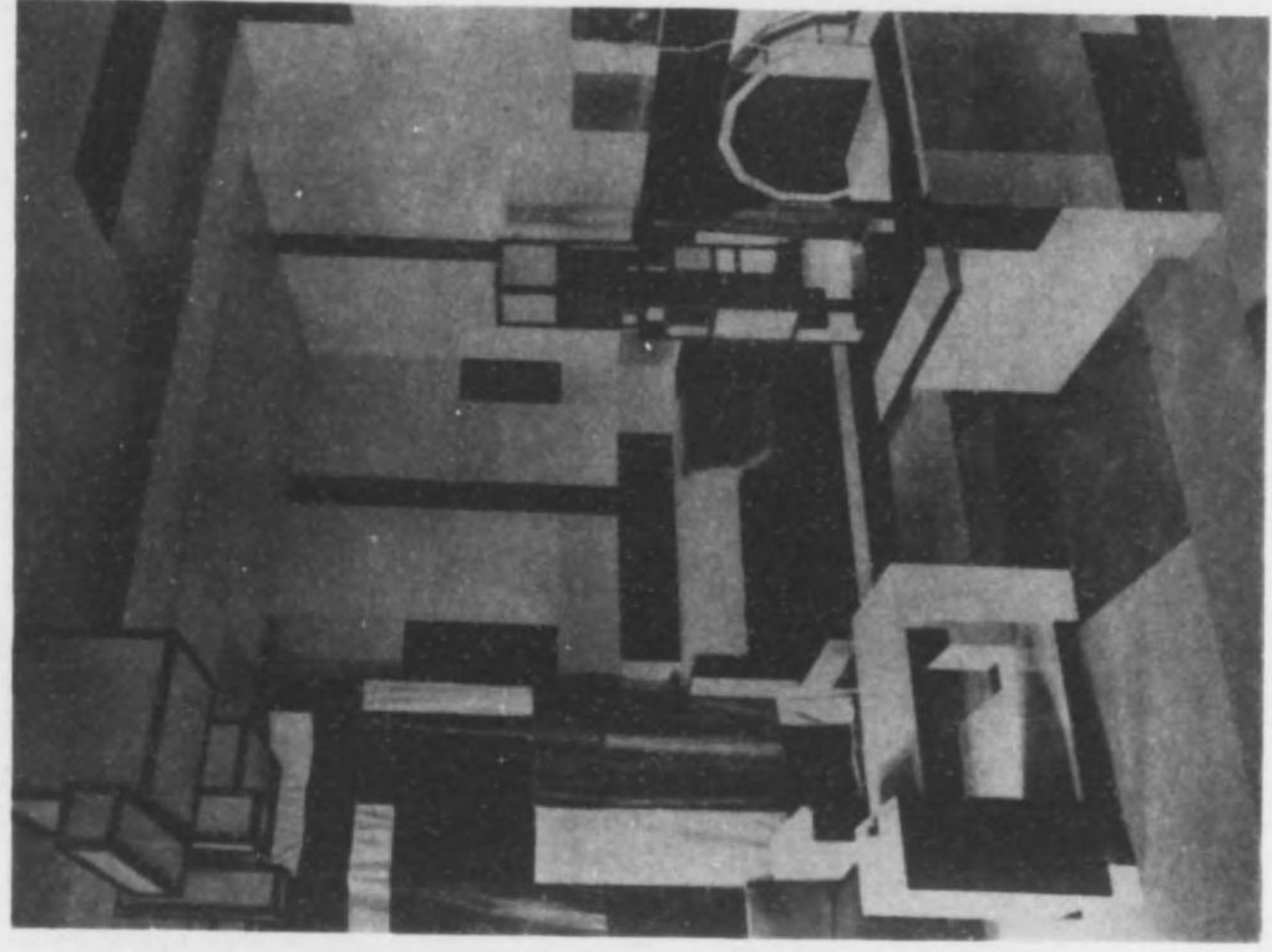
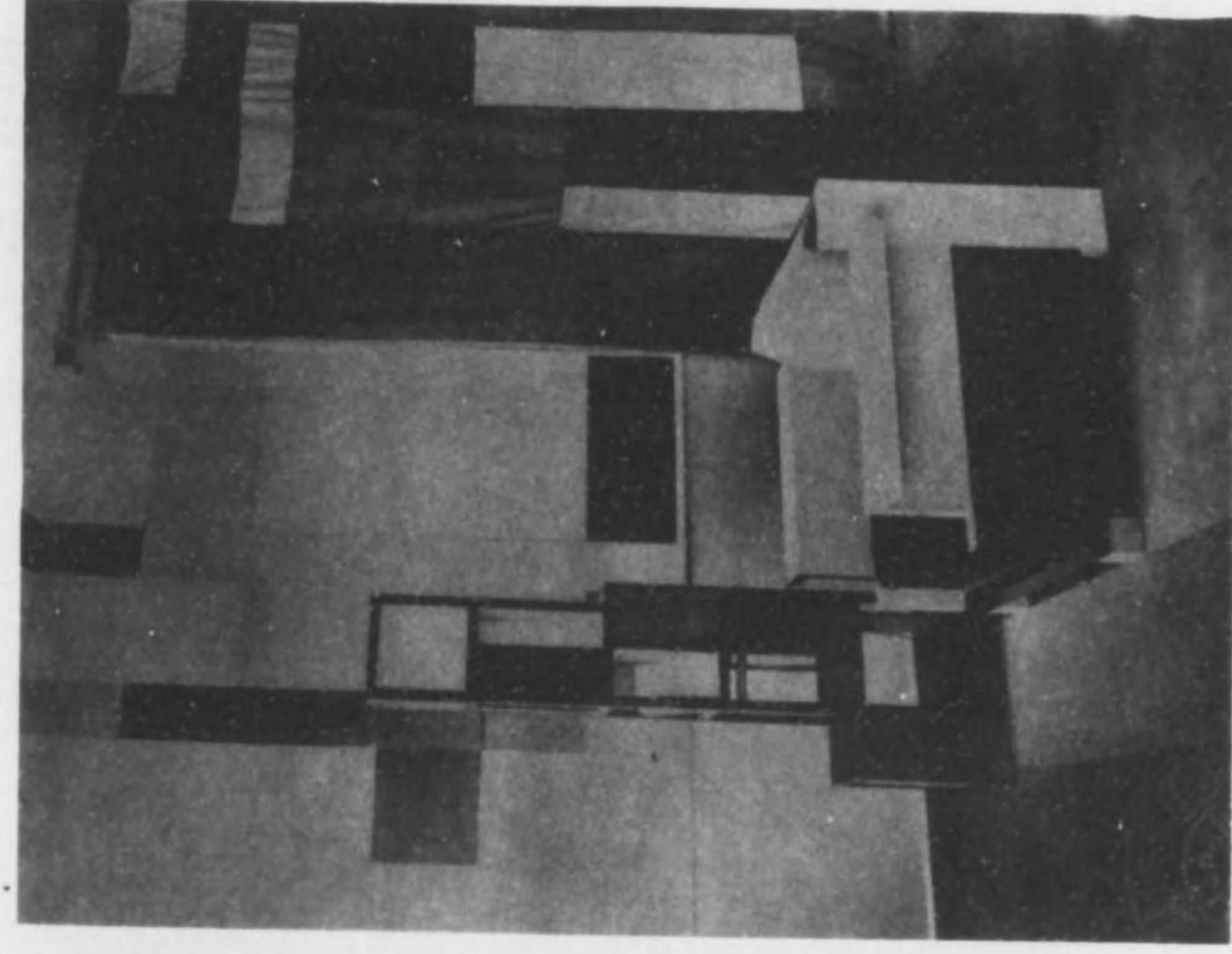
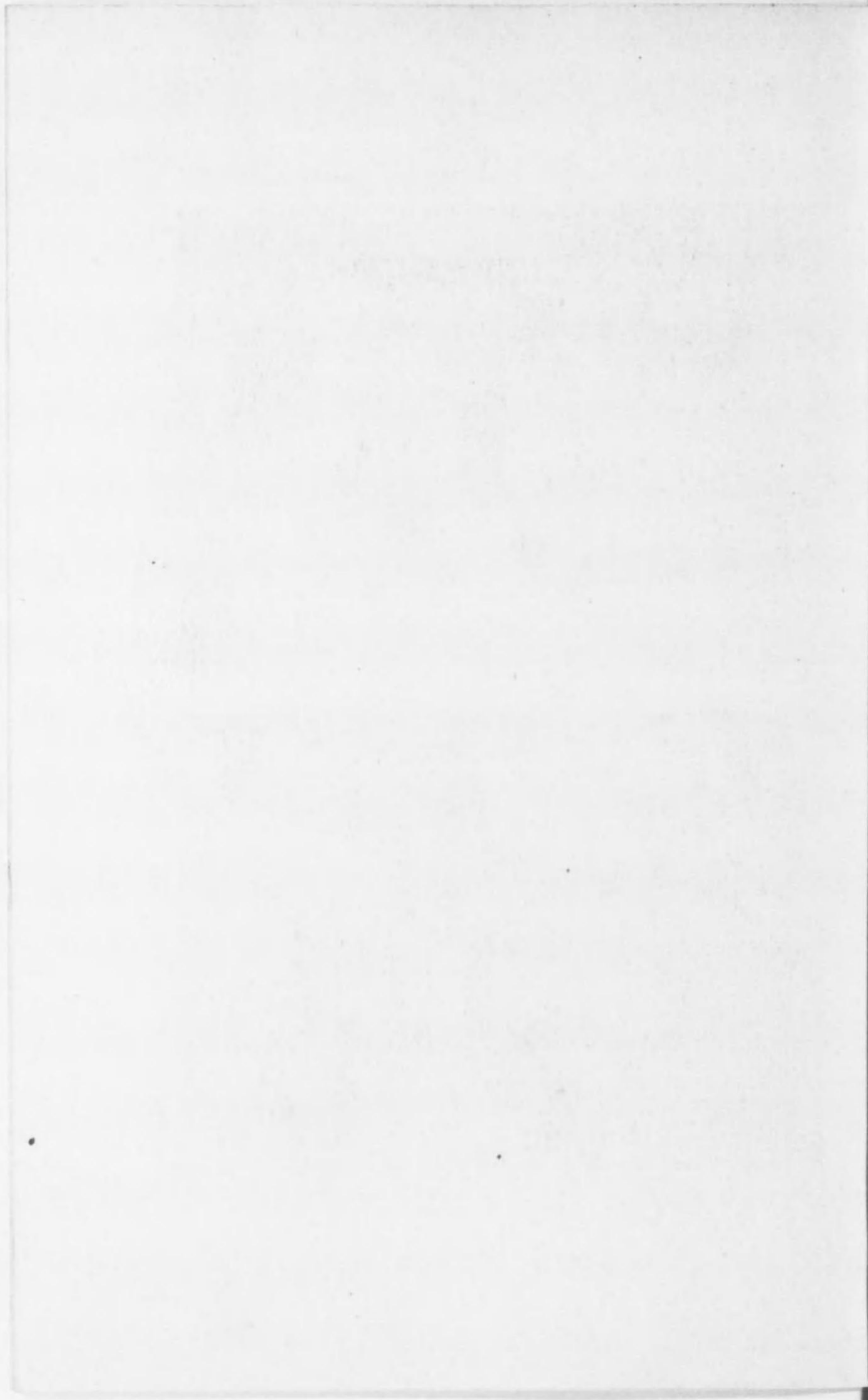


16 聖ペテロの穹窿の内部：モザイクの群

建築家：ブルジョワ・ド・ラ・マニエ



17 自行車會社 陳明宗
攝於 4 月 9 日



18 附1・室内裝飾
建築家 サー・ロバ

337-470



1200501394705

37

70

終